

いつも例会で安全を喚起して下さる鎌田さんから「安心、安全への道」をテーマとしたコラムをお寄せ頂きました。みんなで楽しく活動し、目標を目指す為には、何よりも安全の確保！が大切です。しっかり学んでいきましょう。

② 活動現場に潜むリスク(安全監視員から見て)

人は動き回る

視界には限界あり。例えば樹木の後ろに見え隠れ。監視員がいても見切れないことも多々ある。自分の身は自分で守る！！



- ・ 山での活動に於いて上下作業は禁止。
- ・ 各グループでの作業時、チェーンソーは1台
- ・ 伐倒時、樹高以上の距離(2倍以上)を保つ
- ・ チャフスやフェイスガード、イヤーマフなど装備の携行を。個人&グループ

事故は一瞬！

(まばたきほど)

危険を見逃さない限界(距離)とは？

作：鬼鎌 (鎌田さんのお父様の愛称。)